

ひでしま 日出島クロコシジロウミツバメ繁殖地

はんしょくち

- ◇ 指定日 昭和10年12月24日
- ◇ 所在地 崎鋤ヶ崎
- ◇ 所有者 地区共有

日出島は、崎山地区の日出島漁港から南に約600m離れた海上に浮かぶ無人島です。その形から別名、軍艦島とも呼ばれ、市内では一番大きな島です。

周囲は30～40mの断崖絶壁で、上部は平らになっています。約1億年前の中生代白亜紀の地層が堆積しています。島内には、アカマツ林で被われ、林の下にはササ類等の草木が密生しています。

クロコシジロウミツバメは、体長20cm前後の小型の海鳥、渡り鳥で、5月頃に来て産卵、繁殖し、10月頃島を離れます。下草が茂ったところに、約1mの巣穴を作ります。

1970年代後半から公益財団法人山階鳥類研究所が継続してクロコシジロウミツバメの生態などの調査を行っています。



日出島



クロコシジロウミツバメ
(写真提供 公益財団法人 山階鳥類研究所)